

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	101	学校名	富士市立高等学校	校長名	櫻井 祥行
------	-----	-----	----------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自律する若者の育成

CDI実現に向け、自然と地域を愛し、富士市や社会に貢献できる人材を輩出する。

・コミュニティ・ハイスクール

＝人との関わりを大切にし、地域社会で主体的に活躍する生徒を育てる。

・ドリカム・ハイスクール

＝人生の目標や夢を持ち、その実現に向けて挑戦する生徒を育てる。

・探究（インクワイアリー）・ハイスクール

＝探究の見方と考え方を働かせ、本質を追求し、課題を解決する生徒を育てる。

(2) 教育目標具現化の柱

ア 基本的な生活習慣、社会人としての資質・能力を身に付けるため、授業や部活動、学校行事の充実を図り、「豊かな人間性」や「良好な人間関係」を育てる学校（**主体性、協働する力**）

イ キャリア教育を推進することにより、生徒が夢を持ち、「確かな学力」を身に付けることで、進路実現を支援する学校（**チャレンジ精神、実行力**）

ウ 魅力ある専門教育と学科の特色を活かし、教育課程の充実に努め、「主体的・対話的で深い学び」による「魅力ある授業」を展開できる学校（**論理的思考力、傾聴力、課題解決力**）

エ 家庭・PTA・地域と連携した教育活動を推進し、「社会に開かれた教育」を実現するとともに、保護者や地域から信頼される学校

オ 教育環境の整備・充実及び予算の適正かつ効率的な執行を目指す学校

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の生徒との関わりを大切に ・ 毎朝の校門・昇降口指導 ・ 毎朝の健康管理チェック (朝の健康観察の徹底・感染症対策) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年、学期ごと朝読書に1度も遅刻しない生徒数 85%以上 	生徒 保健環境 学年
ア	学校の安心安全	<p>生命尊重の意識の高揚に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全教室の実施 (年2回) ・ 朝の交通街頭指導の実施 ・ 委員会による交通街頭指導の実施 (年5回) ・ SC との情報交換会実施 (管理職、生徒課、教育相談課、各学年主任、保健室) ・ 面接週間、「こころの問診票」による SC とのカウンセリング実施 ・ 生徒の実態に即した保健講座の実施 ・ 「学校生活(友人関係)に関するアンケート」の実施(年2回) ・ いじめ・体罰・セクハラ防止対策に努め、その兆候を見逃さない。(欠席理由の正確な把握と いじめ案件に対する迅速な対応) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の交通街頭指導 (年間 150 回以上)、自転車事故件数 (昨年度より減) ・ 情報交換会 (毎週 1 回) ・ 面接週間 (年 2 回)、こころの問診票 (各学期 1 回) による SC とのカウンセリング実施 (毎週 2 回以上) ・ 学年別に実施する保健講座後の意識向上 (生徒の意識向上率 70%) ・ いじめを理由とする不登校、転退学者ゼロ ・ 体罰・セクシャルハラスメントゼロ 	生徒 保健環境 教育相談 学年
ア	職員の健康増進	<p>ワークライフバランスの観点から働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定時退勤日での退庁推奨 ・ 部活動ガイドラインの趣旨を遵守し、部活動の計画的な活動及び休養日を設定する。 ・ 管理職による勤怠管理システムの確認及び職員への声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週 3 回午後 8 時以降に残留する職員を減らし、帰宅する職員の割合を 90%以上にする。 	管理職

様式第 1 号

ア	学校未来プロジェクトの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒会、部活動の活性化 ・ 各プロジェクト (学校改革・魅力化、I R推進、I C T推進、学力向上・進路実現、部活動活性化) の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校行事・部活動に満足している」生徒 90% ・ 海外探究研修の充実 (生徒の満足度 80%) 	生徒 各プロジェクト 学科
イ	生徒の自主性・協調性及び目標に向かって挑戦する意欲と態度を育む	<p>褒め、励まし、諭す指導と体系的なキャリア教育を推進する。また、教員の進路指導力と進学体制の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な面接の実施 ・ キャリア教育の充実 ・ 大学模擬授業の実施や進路啓発の実施 ・ 進路実現に向けた集会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分の将来に対する、はっきりとした夢や希望を持っている」3年生 90% ・ 「学校での学びをきっかけに、さらに学びたいと思う」生徒 60% ・ 2年生進路未決定者 20%以下 ・ 3年生進学希望者向け集会を1、2学期に1回以上実施 	キャリア 支援 学年 学科
イ	高い志のもと進路実現のための進路啓発及び実績の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路啓発のための初期指導の強化 ・ 模試、共通テスト分析会の実施 ・ 校外模試、スタディサポート、学びみらい PASS の結果をリンクさせた進路設計 ・ 大学入学者選抜周知のための保護者ガイダンスの開催 ・ 資格取得の奨励 ・ 英語 4 技能評価に対応した指導方法の研究、実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生への進路啓発行事年2回以上 ・ 進学 (四大 100 人以上) 及び就職内定率 (100%) ・ 検定を 3 科目以上合格して卒業する生徒 70% ・ 英語資格・検定試験の準 2 級以上の受験者 100 人、合格率 40% 	キャリア 支援 学力向上・ 進路実現 教科
ウ	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習時間調査、C ラーニングの活用 ・ 計画的、効果的な課題の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週に 4 日以上、授業以外で自分自身の夢の実現に向けた学びを行う生徒 60%以上 ・ 平均 60 分以上、授業以外で教科の学習をしている生徒、各学年 60%以上 	教務 学年 教科
ウ	魅力ある授業実践と授業力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員校内研修を活かし、分かりやすい授業と学力の定着を図る。 ・ 教員研修週間年 2 回 ・ 出張時における代講・授業振替の励行 ・ アクティブラーニングの推進 ・ 観点別評価の実践および検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 80%以上の生徒が「授業に満足している」と答えた教員 80%以上 ・ 各科目における観点別評価の検証、改善 ・ 「課題解決の道筋を予測し、 	教務 企画研究 教育相談 教科 キャリア 支援 学年 ICT 推進

		<ul style="list-style-type: none"> ・ I C Tの活用と実践、推進 ・ 「学びみらいPASS」の活用 ・ 探究学習や特別活動及び部活動を通して、一人一人の資質や能力を最大限に伸ばせるよう支援する。 	<p>課題を解決するための計画を立てることができる」生徒75%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究学習（「ディベート」「市役所プラン」「自分スピーチ」及び教科「探究」）の充実 	<p>指導主事</p>
<p>エ</p>	<p>家庭・P T A組織・中学校・地域との連携</p>	<p>相互の信頼関係を構築し、社会総がかりの教育を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P T A後援会合同総会・懇談会の充実 ・ 産官学と連携した教育の実践 <p>地域交流事業の主催・共催および地域活動</p> <p><共催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人富士スポーツクラブとの共催：①『人工芝で遊ぼう』②『多世代交流サッカー（毎月第2・第4金曜日開催）』 ・ 富士市教育委員会社会教育課との共催：『学校でEnglish体験』 <p><地域活動への参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内プロスポーツクラブ（清水エスパルス、バルテックス静岡、ハヤテベンチャーズ静岡）との連携促進（スタジアムボランティア活動等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会の充実 ・ H Pの充実 ・ 学校見学会、相談会の開催（年12回） ・ 中学校訪問、中学校での学校説明会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設の適切な一般開放 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A後援会合同総会・懇談会の出席率 40% ・ 「本校が地域に開かれた学校とを感じる」保護者85% <p>各部活動および本校生徒が参加するボランティア活動等の地域交流については、年間100回以上の実施および参加（昨年度並み）生徒数を目標とする。</p> <p>令和5年度：107回 実施 令和6年度：124回 実施 令和7年度：82回 実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校運営協議会の提言が学校運営に反映されている」と回答する委員90% ・ H P更新週5回以上 ・ 学校見学会に参加した中学生の満足度90%以上 ・ 中学生への説明会での若手教員及び生徒の活用 ・ 体育館・グラウンドの一般開放年間200日以上 ・ 庭球場の一般開放年間180日以上 	<p>総務 地域交流 キャリア 支援 情報図書 管理職 事務</p>

様式第 1 号

オ	適正な事務の執行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備の不具合個所の解消 ・ 省エネルギーの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防設備点検・建築物定期点検による指摘箇所の改善 100% (既存不適合を除く) ・ 年間電気使用量を前年度比削減 ・ コピー機の利用枚数を前年度比減 	事務
---	----------	---	---	----